

## 令和2年度 事業報告

### 1 会議

#### (1) 理事会

令和2年4月8日（水）

新型コロナウイルスの感染拡大により臨時で開催  
第73回福島県消防大会の対応について  
令和2年度福島県消防殉職者慰霊祭の対応について  
第42回福島県消防操法大会の対応について

令和2年5月26日（火）

令和元年度事業報告（案）について  
令和元年度決算（案）について  
評議員改選に伴う候補者（案）について  
理事、監事改選に伴う候補者（案）について ほか

令和2年6月11日（木）

会長（代表理事）の選定について  
副会長の選定について  
令和2年度福島県消防協会定例表彰の表彰時期について  
第73回日本消防協会定例表彰への  
本県推薦団・団員等について ほか

令和2年11月20日（金）

令和2年度補正予算について  
令和3年度福島県消防協会定例表彰について  
第74回福島県消防大会等開催日程等について ほか

令和3年2月10日（水）

令和3年度事業計画について  
令和3年度予算について  
令和3年度福島県消防協会定例表彰  
被表彰者審査について ほか

#### (2) 評議員会

令和2年6月11日（木）

令和元年度決算（案）の承認について  
評議員の選任について  
理事・監事の選任について  
顧問の選定について  
公益財団法人福島県消防協会定款の  
一部改正について ほか

(3) 監査 令和2年4月15日(水)  
令和元年度決算・事業実施状況監査

(4) 支部事務連絡会議 中止

## 2 事業

(1) 消防大会事業  
第73回福島県消防大会 ※中止

※令和2年度福島県消防協会定例表彰については、表彰物件を福島県消防協会各支部に送付し、支部長より伝達を依頼した。なお、表彰旗は南相馬市にて南相馬市消防団に授与した。

受賞者(団)	表彰旗	南相馬市消防団
	会長杯	12団
	竿頭綬	10団
	功績章	170名
	精績章	540名
	感謝状	
	①退職団長	13名
	②退職団員	687名
	計	23団 1,410名

(2) 慰霊祭事業(弔慰救済事業)

令和2年度福島県消防殉職者等慰霊祭を執り行い、消防活動中に、不幸にも殉職または殉難された消防(職)団員及び一般協力者の功績を称え、その遺徳を偲ぶことで同様事故の防止を図るとともに、広報を通じ消防活動における県民の協力の重要性を周知した。

※殉職消防組員之碑前(福島県消防学校内)において、正副会長、事務局のみで執り行った。

①令和2年度福島県消防殉職者等慰霊祭

開催日 令和2年6月5日(金)

開催場所 殉職消防組員之碑前(福島市荒井字仲沢7 福島県消防学校内)

参列者 福島県消防協会長、副会長

②全国慰霊祭

第39回全国消防殉職者慰霊祭

開催日 令和2年9月17日(木)

開催場所 日本消防会館

参列者 福島県消防協会長

(3) 消防操法大会事業

第42回福島県消防操法大会 ※中止

第27回全国消防操法大会 ※中止

(4) 消防団確保対策事業

消防団への入団を、一般住民に呼びかけるとともに、県内事業所等に消防団活動への理解促進を図る。

- ① 消防団の入団を促進するため、パンフレット、防災てぬぐい等を作製・配布した。
- ② その他消防団員確保に関する事業を行った。

(5) 広報事業

各種広報媒体を活用し、防火思想の普及を図り、一般県民の防火思想の高揚に努める。

- ① 春・秋季全国火災予防運動時の新聞企画面に広告を掲載した。
- ② 火災予防ステッカーの作製・配付した。
- ③ 公式ホームページを随時更新し、公開している。
- ④ 福島消防新聞を10月と3月に作成・配付した。
- ⑤ 日本消防協会が発行する機関誌「日本消防」を配付した。
- ⑥ 火災予防啓発のため、防火ポスターを作成・配付した。
- ⑦ 消防団への応援メッセージ「Fireエール五・七・五」の募集を行い、応募作品をホームページや消防新聞、入団促進パンフレットで紹介した。
- ⑧ 消防団のPRと火災予防の普及啓発を推進するため、消防協会マスコットキャラクターを作成した。

(6) 消防団員研修事業

消防団員の知識・技術の向上を図るため、研修を開催する。また、各消防団が実施する初任訓練用の資料等を配付する。

- ① 消防団長等研修会を2月に開催を予定し準備を進めていたが、福島県内の感染状況を考慮し、やむを得ず中止とした。

令和2年度消防団長等研修会 ※中止

- ② 女性消防団員等研修会は1月開催とし、女性消防団員が企画委員となり、企画ミーティングを実施しながら準備をしてきたが、福島県内の感染状況を考慮し、やむを得ず中止とした。

令和2年度女性消防団員等研修会 ※中止

③ 消防団訓練指導員研修は、人数制限や研修場所の変更などの感染症対策を行い開催した。

令和2年度消防団訓練指導員研修

開催日 令和2年11月25日(水)～26日(木)

開催場所 とうほう・みんなのスタジアム(福島市佐原)

参加者 16名

④ 第26回全国女性消防団員活性化徳島大会に参加を予定していたが、大会が次年度へ延期となった。

⑤ 各種研修用資料等の購入、配布を行った。

(7) 地域の消防団体等に対する育成・支援助成事業

地域の消防団体等の運営・活動等の経費の一部を助成し、その団体の育成・活動支援を行う。

① 福島県消防協会各支部に対する運営費の一部(事務費)を交付した。

(8) 消防会館運営事業

福島県消防会館の有効活用を図り、消防会館の適正な管理運営を行った。

(9) 消防団員・消防職員のために実施する各種共済事業

日本消防協会及び全日本消防人共済会等の実施する各種共済事業の加入促進、事務取次を行い、会員の福利厚生について事業を行った。

〈各種共済事業の実施状況〉

① 消防団員等福祉共済

a 加入者数 31,389名

b 支払共済金

公務中 無し

公務外 遺族援護金 20件 20,000,000円

障害見舞金 6件 870,000円

入院見舞金 116件 4,495,500円

計 142件 25,365,500円

② 婦人消防隊員等福祉共済制度

a 加入者数 1,078名

b 支払共済金

公務外 入院見舞金 3件 83,400円



(4) 日本消防協会定例表彰

本県より表彰候補団(者)等を推薦し、次のとおり決定された。

表 彰 日	令和3年3月5日(金)	
受賞者(団)	表彰旗(1団)	川俣町消防団
	竿頭綬(3団)	三春町消防団
		矢吹町消防団
		檜葉町消防団
特別功労章	1名	
功績章	36名	
精績章	85名	
勤続章	247名	
計	4団	369名

(5) 新・日本消防会館建設事業への協力

福島県消防協会各支部へ寄付の協力を依頼し、5消防団より寄贈されたため、3月19日に日本消防協会へ送金した。

4 東北地区各県消防協会との情報交換

(1) 東北地区消防連絡協議会

例年、東北6県及び新潟県の消防関係者の連携強化を図るとともに、当面する諸問題について、研究討議を行っているが、令和2年度は書面により行われた。

令和2年度東北地区消防連絡協議会 ※書面開催

(2) 東北地区消防協会事務局会議

東北6県及び新潟県が抱える諸問題について協議し、地域消防の活性化と協会の円滑な運営を図るため情報交換を行っているが、令和2年度の開催予定の時期に新型コロナウイルス感染症が拡大傾向であったことから、幹事県が中止を決定した。

令和2年度東北地区消防協会事務局会議 ※中止